



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

アジアの未来を拓く

九州大学の挑戦

2017年9月22日(金) | アクロス福岡 国際会議場
15時～18時30分 | 入場無料・先着150名(要事前申込)

歴史的にアジアとの交流拠点であった福岡に位置する九州大学は、これまでもアジアを対象にした研究・教育を活発におこなってきました。今後も日本だけでなく、アジアの拠点大学の一つとして、アジアの人々とともに、アジアが今、直面している様々な課題を解決し、より良い未来を構築するために、九州大学に求められていることは何なのでしょう。このシンポジウムでは、今年の福岡アジア文化賞大賞受賞者であるパーズック・ボンパイチット、クリス・ベーカーの両氏を基調講演者に、そして日本を代表するアジア研究者である白石隆氏、清水展氏らをパネリストとして迎え、九州大学がアジアの研究教育拠点としてなすべきことは何なのか、アジアとの連携を深めていくためにはどのようなことに挑戦していくべきなのか、そして九州大学だけではなく、九州という地域にはどのような可能性があるのかなどを考えていきます。

基調講演 2017年福岡アジア文化賞大賞受賞者

パーズック・ボンパイチット
経済学者(チュラロンコーン大学教授)
【タイ/経済学】

クリス・ベーカー
歴史学者(独立研究者)
【イギリス/歴史学】

講演者紹介

1980年代から急速に経済発展してきたタイの社会変動を、東洋と西洋の知性の協働、社会科学と人文科学の融合をとおして複眼的で総合的な視点から分析し、学術研究の対象と方法にアジア発の新たな展開と深化をもたらす。主著に『Thailand's Boom and Bust(タイのバブルと破綻)』(1998年)『A History of Thailand(タイの歴史)』(2005年)など。また、タイでもっとも親しまれている長編叙事詩『クンチャン・クンペン物語』の英訳(The Tale of Khun Chang Khun Phaen)を完成。タイの代表的知識人として多大な社会的貢献を果たしている。



©福岡アジア文化賞委員会

パネル・ディスカッション 「アジアの今とこれから-大学が果たすべき役割とは-」



白石 隆
(ジェトロ・アジア
経済研究所所長)



清水 展
(京都大学
名誉教授)



荒殿 誠
(九州大学理事・
副学長)



竹森 活郎
(福岡市総務企画局
国際部国際政策課長)



プログラム

司会: 錦木 政彦(九州大学教授)

15:00 開会挨拶 久保 千春(九州大学総長)
15:15～15:45 共創学部紹介 小山内 康人(九州大学副理事)
15:45 基調講演 2017年福岡アジア文化賞大賞受賞者
? パースック・ボンパイチット(チュラロンコーン大学教授)
16:45 ? クリス・ベーカー(独立研究者)
16:45～17:00 休憩

17:00 パネル・ディスカッション
「アジアの今とこれから-大学が果たすべき役割とは-」
? 【登壇者】
18:30 白石 隆(ジェトロ・アジア経済研究所所長)
清水 展(京都大学名誉教授)
荒殿 誠(九州大学理事・副学長)
竹森 活郎(福岡市総務企画局国際部国際政策課長)
司会: 鬼丸 武士(九州大学准教授)
18:30 閉会挨拶 丸野 俊一(九州大学理事・副学長)

主催:九州大学共創学部準備教授会
共催:福岡アジア文化賞委員会

※webより事前にお申し込みください。
<https://goo.gl/forms/ZbsCWfFeHwqTahy03>

